

V.グループホームひまわり寮

1. 利用者 入所定員5名（現員5名）

入所定員5名に対して、定員いっぱいの5名(わかば共同作業所の利用者が3名、わかば第2作業所の利用者が1名、わかば以外の就労継続支援A型事業所の利用者が1名)が利用し、安定した運営ができています。尚、就労継続支援A型事業所の利用者は、9月24日にアパートに移ったためグループホームを退所した。その人と入れ替わりに、わかば第2作業所を利用している人が10月26日に入居した。この利用者については、平成28年3月2日から一般就労し、グループホームより通勤するようになった。利用日数は、下表のようになっている。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
利用日数	141	141	142	145	144	133	119	137	143	143	135	146	1669

2. 職員体制

- ・作業所と兼務している管理者が、寮の管理運営を行った。
- ・サービス管理責任者が、利用者の状態について世話人と情報を交換することにより連携に努めた。
- ・世話人2名が、1日8時間の勤務を交替しながら、業務(食事の提供、日常生活上の支援、相談他)をこなした。尚、月1回、わかば共同作業所において、管理者、サービス管理責任者、生活支援センターわかばの相談支援専門員との話し合いに参加した。
- ・作業所兼務の事務員1名が、会計事務処理を行った。

3. 支援内容

(1) 食事の提供、健康管理、金銭管理の支援

- ・寮裏庭の自家菜園で作った新鮮な野菜を使い、栄養のバランスに留意した手作りの食事を提供した。
- ・利用者の誕生日などに合わせて、月1回要望を聞きながら、近場のうどん店や回転寿司店、ラーメン店などで外食を実施した。
- ・生活支援における着衣や食事の摂取状態などについて、作業所と世話人で連絡を取り合うようにした。
- ・世話人と連携しながら、個々の利用者の体調管理及び病状の把握を日常的に行うと共に、定期の病院受診について支援した。
- ・お金を自己管理している利用者については、無駄使いなどがいないか確認するようにした。

(2) 日常生活上の相談及び助言

- ・共同生活を快適にするために各人の役割、各自ですべき事等話し合い、内容によっては、バックアップ施設とも連絡を取り合いながら対処した。尚、利用者のひとりが、グループホームの固定電話を使って出会い系サイトに電話したりする出来事があったため、再三社会生活する上での注意助言をした。

(3) 余暇活動及び地域との関わり

- ・生活支援センターわかば主催のゆる座に参加するように情報を提供すると共に、利用に向けて援助をした。

・平成26年4月29日、ゴールデンウィーク中の休みを活用して、ケアホームこんぺいとうと合同で外食ドライブを実施した。わかば共同作業所やケアホームの職員7名とグループホームケアホームの利用者12名計19名で、香川県善通寺方面に行き、善通寺にあるイタリアンレストランで昼食、善通寺でお参りをし、帰りの道中で喫茶をして帰った。いつもと違うメンバーさんとの間で有意義な一日を過ごすことができた。



(4)緊急時の対応

- ・夜間防災体制として、引き続きいずみサポート株式会社に警備業務を委託し、夜間の安全に努めた。
- ・夜間や休日に利用者から緊急の電話が入る事もなかった。
- ・防災訓練としては、平成27年6月29日(月)水害対応避難訓練、10月8日(木)地震対応避難訓練、平成28年3月15日(火)消防署立会避難訓練を実施した。

(5)行政機関に対する手続きの代行

- ・受給者証の申請や提出書類は、バックアップ施設や生活支援センターわかばとで協力し手続きを行った。

(6)バックアップ施設(わかば共同作業所)との連絡調整

- ・毎日の日誌(食事メニュー、健康状況、出来事等を記録)を1週間単位で、わかば共同作業所の方に提出することにより、グループホームでの生活状態を把握した。
- ・月1回、わかば共同作業所にて、世話人、管理者、サービス管理責任者、生活支援センターわかば相談支援専門員2名計6名が出席して、利用者の1ヶ月間の状況を把握すると共に個別の支援内容を検討した。

【世話人との話し合い開催日】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開催日	4/20	5/20	6/22	7/27	8/19	9/16	10/21	11/18	12/16	1/20	2/17	3/23

4. バックアップ施設の役割

- ・サービス管理責任者(兼務)が、個別支援計画の策定をした。また、ひまわり寮日誌の内容確認及び保管と共に、月1回の話し合いの内容を個別に記録した。
- ・保護者との連絡を密に行い、寮生活が心地よく過ごせるよう支援した。また、両親のいない利用者には、姉妹と連絡をとるようにした。
- ・通院援助については、わかば共同作業所やわかば第2作業所の職員が行った。インフルエンザ予防接種については、5名の利用者を知元医院へ連れて行き受けさせた。
- ・世話人の方から出されてくる修繕補修箇所については、業者等に連絡を取るなどして可能な限り迅速に対応するようにした。昨年10月には、破れが激しかった離れの押入れの襖の張替えを地元の業者にしてもらった。
- ・昨年11月、防災面での強化として住宅用煙感知器(熱当番電池式感知器1、煙当番電池式感知器6)設置工事を行った。